

今回は先般当財団で実施した、電動キックボードの製造・販売を手掛ける SWALLOW 合同会社への取材についてお知らせします。

進行する高齢化や地方の人口減少等への対策として、移動におけるラストワンマイル問題の解決が求められています。

また、そのソリューション（自主運転型）としてマイクロモビリティへの期待が高まる中、低コスト且つ利便性が高い電動キックボード導入・活用に向けた取り組みが活発化しています。

SWALLOW 社では、福島県南相馬市の「福島ロボットテストフィールド」※に入居する 5 つの団体・企業にそれぞれ 1 台貸与する形で実証実験を行っています。

同フィールド入居者は技術開発担当者が多いことから、主に機体の技術的フィードバックや活用方法に関する知見を得ることを目的としているとのこと。

※陸・海・空のフィールドロボット（ドローン、空飛ぶクルマ、自動走行 他）の開発実証拠点

電動キックボードは現行の法規上、原動機自転車と同じ扱いとなっています。

今後新たな「小型低速車」というセグメントとして最高速度、ヘルメット装着義務化などの条件が設けられる見通しです。

SWALLOW 社は製造会社の立場として、それらの条件設定は妥当と受け止めています。

電動キックボード利用のハードルを下げ、広く遍く使われる環境とするよりも、交通ルール・マナーを順守し、機体を適切に扱ってもらうことで、電動キックボードの利便性・安全性等が人々に的確に認知され、普及していくことが望ましいと考えています。

さて電動キックボードが既存の交通社会に適応・普及していくには、どのような形が相応しいのでしょうか。

当調査報告の詳細は動画化の上、11 月までに当財団動画学習サイト「早わかり！クルマ塾」内の「最新のクルマ・交通情報」コーナーに掲載する予定です。

【「早わかり！クルマ塾」内、「最新のクルマ・交通情報」コーナー URL はこちら↓】

<http://www.jaef.or.jp/6-kurumajuku/johokan/latest-news/index.htm>

日本自動車教育振興財団 メルマガ事務局

---

▼"ツイッター"を始めました。

<https://twitter.com/jidousyakyoku>

▼本メルマガへのご登録内容の編集・解除は、以下よりお願いします。

<https://matomete-mail.com/bm/p/f/uf.php?id=149239601>